

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 11 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	広島県尾道市向島町立花3010-23 （電話）0848-20-6022		
自己評価作成日	令和3年8月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年11月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

島内にある施設で、入居者さんや職員の大半は同じ島内の住人なので、中にはお元気にご自宅で暮らされていた頃の入居者さんと顔なじみの職員もおります。そのため地域の昔話なども自然に行えており、ある意味施設内で地域ケアが行えています。そういった“島内”という小さなコミュニティ力を今後も弊施設の特色のひとつとして大切にしたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の特徴的な取組みとして第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。即ち事業所は現在のコロナ禍による面会制限に対し家族の要望に基づき遠方家族とのリモート面会・事業所でのガラス越し面会の他、先月からアクリル板を挟んだ短時間面会も始め、利用者・家族の気持ちに寄り添った支援をしている。又、息子の命日に墓参りを希望する利用者の思いが家族の協力で実現し家族の一員と実感できたのか、利用者はその夜は熟睡した例もある。第二に「理念の共有と実践」に深化が見られる。即ち事業所は基本理念及びその年の理念目標・取り組む内容を所内に掲示し実践上の立ち返るべき原点として位置付け、年度末の職員会議で振り返りを行っている。それに基づき各職員は翌年の抱負を掲げ全員の自己目標を発表・共有している。今年は「笑い声の出る生活作り」に向け、例年以上に楽しみ作りに工夫が見られる。

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えてそこに向けて実践につなげている。	開設時に策定した理念及びその年の理念目標・取り組む内容を所内に掲示し、実践上の立ち返るべき原点として位置付けている。年度末の職員会議で次年度の目標に繋ぐべく当該年度の振り返りを行っている。併せて各職員も年末に翌年の抱負を掲げ、全員の自己目標を発表・共有している。	今年の目標は昨年につき「笑い声の出る生活支援」であるが、理念の周知や実践により深く取り組むことで更なる向上を期待したい。設定した年間目標の達成度を定期的に評価して記録に残す案等、検証過程を「可視化」することで職員間の認識の共有を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。	現在はコロナ禍により近隣散歩等以外は自粛中だが、本来は日頃から買い物や町内会に加入し地域行事にも参加していた。事業所の夏祭り等に地域住民やボランティアを受け入れる相互交流や高校の実習体験等で子ども達との世代間交流もある。現在は家族とのガラス越し面会もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れその都度解決できる問題であればその場で討議し、納得して頂いている。	最近の会議はリモートによる系列2事業所との法人合同会議であり、コロナ対策が最重要課題となっている。特に家族との面会情報の適時な発信により、ガラス越し等の面会に繋がった経緯がある。その他の運営状況を含め、家族との情報共有を図るべく議事録を送付している。	本来は家族会も兼ねて定期的開催され、地域包括支援センター職員や民生委員等も参加していた。ただ最近家族以外の本来の参加予定者との事業所運営に関する情報共有に不十分な面がある。今後はそれに対する意見聴取も含めた議事録の送付案等、意見交換に向けた取組みを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。	コロナ禍前は地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加し情報共有をしていた。又地域包括支援センター主催の町内の施設合同研修会にも参加して地域連携を図っている。市町担当者とは日頃から相談や報告、行政主催の研修会への参加等を通して協力関係の構築を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しずらいためやむなくオートロックをかけているが、入居者さんが望まれば職員が同行して外出をしている。	職員会議やケアの現場での検証を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し具体的なケアの中で実践を重ねている。運営推進会議の中で拘束状況を報告したり、赤外線離床センサーを夜間設置している。見守り同行以外、玄関はオートロック対応である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者さんにおいては以前利用されていたこともあるので、必要性に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き不明な点は問い合わせ頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などの話あっている。その結果報告をご家族様に報告させて頂いている。	現在はコロナ禍で面会自粛だが、家族とは電話連絡・介護計画更新時・事業所での窓越し面会等で意見・要望を把握し迅速な対応に努めている。以前は家族会を兼ねた運営推進会議もその機会であり、利用者・家族の要望で外食や道の駅・動物園等、外出支援の例もあった。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスや申し送りの時など意見が出れば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。	毎月の職員会議・申し送り・管理者他との随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案等に対する支援体制を採っている。いつも座っている利用者の歩行願望に対し、職員提案により歩行練習の同行や下肢筋力強化訓練の支援に繋がった経緯がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費・参加費など施設側が負担をしてくれている。また、施設内研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括センター主催の町内の施設合同研修会にも参加してより一層のサービスの向上につなげたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者さまとの信頼関係が一番なのでスタッフ一同で気配り、心配りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常にお互い勉強させて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族とも来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ化の為、面会が難しいが夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。	遠方家族とのリモート面会・事業所でのガラス越し面会の他、先月からアクリル板を挟んだ短時間面会も始まり、利用者・家族の気持ちに寄り添った支援に努めている。年賀状・携帯電話を介した会話等、馴染みの関係が途切れない支援や島内同士で職員と顔見知りの利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、皆様共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設にご転居であれば地元のコミュニティでその後のご本人の情報が入ってきている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人の意思、意向を尊重しながら日々対応に努めている。	利用者の情報を基にその後はその方に深く関わりをもつことで思いを汲み取り、生活シート等で共有している。自信があまりない利用者にも一度まず行ってみる姿勢にて支援し自己達成感に繋げている。3足の靴下畳みから始まり、靴下のピン留めが日課になった例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したりご家族にお聞きしながらは日々の反応に対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画原案を適宜担当者会議で検討し電話連絡等で家族の同意を得て本案としている。3ヶ月を基本にモニタリングの集約・計画見直しをしている。生活機能の維持を図るべく状態低下の早期発見に努めている。車いすの利用者に訪問リハビリを導入し立位でのトイレ誘導可となった例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化や細かく個別記録に記入することにより職員間で情報の共有をしケアや介護計画に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで出向ける事には参加をしようと思うが人が限られているので、ボランティアなどで生活に張りができています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医が有るので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な方はそのままかかりつけ医の往診を支援している。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医としている。協力医から月2回の訪問診療、協力歯科医・皮膚科から適宜往診もある。専門医の受診は家族の協力も得ながら行なわれ、週1回の非常勤兼務看護職員の配置もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡をとるように心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針決めて看取りまでの過程を説明している。	契約時に「看取りに関する指針」を説明・了解を得ている。重度化した際には家族・医師・看護師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。年に数件の看取りがあり、マニュアルの作成や家族と一緒に振り返りも行われ、職員の経験は多いものになっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。	消防署の立ち会いの下、年2回の避難訓練を夜間を想定し利用者も参加して実施している。ハザードマップでは非該当地域だが、運営推進会議等で地域住民に向け消防署の協力の下、災害時の一般的な協力要請も行っている。減災対策として非常食・飲料水3日分等、備蓄整備もなされている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも充分配慮している。居室の訪問時には、中に居なくてもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をするようにしている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への対応も不適切な対応にはその場で注意し気づきを促している。トイレは自動点灯なので使用中、他の利用者が入らぬよう気を付けたり、記録作成の際も注意喚起をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては対応できる範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大事にしている。日々の日課として体操、レクリエーションも声掛けするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりとみてもらい整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚、視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上げます。片付け、食器拭きなど手伝ってもらっている。	毎日の献立は季節や食材を勘案し職員による三食手作りである。誕生日には好みにより巻き寿司や赤飯を提供し、週二回パン朝食としている。地元のふな焼きやたこ焼き等のおやつ作りやベランダでの昼食等、楽しみとなる工夫もある。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>排泄管理表でパターンを把握しトイレ誘導を基本としている。退院時の紙おむつから紙パンツへの移行例やトイレに可動式手すり・男性用小便器の設置等、状態像に合わせた自立支援を行っている。夜間の転倒防止の為、赤外線離床センサーを設置している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は、時間などに関係なくその都度入浴、またはシャワー浴の支援をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>	<p>週2回の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて、好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の体の負担を考慮し、シャワー浴や足浴で対応することもある。浴室から立つと、海・中庭も見える環境整備の他、外出予定に備えた前日入浴の対応や冬至の柚子湯等も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室消灯されている。消灯時間も決まっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬が変わった時は、連絡ノートや申し送りなどを行い服薬は飲み込まれるまで見届け確認するようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人の残存機能を活かせる役割を見つれたり、趣味や楽しみが持続できるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出される方もいる。</p>	<p>コロナ禍で外出自粛だが、天候が良ければ近隣の散歩や季節行事としてお花見・紅葉狩り・選果場等、普段は行けないような場所へドライブをしている。事業所前の遊歩道で海を見ながら無理のない範囲で散歩をしたり、家族の協力のもと自宅で会食することもある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人がお金の管理をされている方には、買い物に同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物をして頂くこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は暖房の乾燥予防の為に加湿器や空気洗浄機を設置している。	法人内の先発事業所での経験を活かし、平屋建てでユニット間の往来やトイレ・ロビースペースの拡大等、機能性を重視している。又、正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする作品を壁掛けている。白内障の利用者が多く、午前中はカーテン等で遮光調整をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養できる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきていただき落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑、茶わんの他写真、仏壇、寝具など)	居室にはベッド・筆筒等が備え付けられ、仏壇・湯呑等、使い慣れた物やお気に入りの服・書写用の天風録等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレや赤外線離床センサーを設置する時もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。		

V アウトカム項目(海) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えてそこに向けて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させて頂くようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせて頂き、地域の方に認知症の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の方からの意見を取り入れその都度解決できる問題であればその場で討議し、納得して頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば市町や包括支援センターの担当者に報告や相談を持ち掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープ等、危険な場所を確認しずらいためやむなくオートロックをかけているが、入居者さんが望まれば職員が同行して外出をしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要とされる入居者さんにおいては以前利用されていたこともあるので、必要性に応じて支援させて頂けるように情報交換は行っています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には事前に内容を説明させて頂き不明な点は問い合わせさせて頂き十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>二か月に一回は所長や副所長、三施設の管理者とリモート会議を開きコロナ対応などの話あっている。その結果報告をご家族様に報告させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスや申し送りの時など意見が出れば早急に対応し、可能な限り取り入れるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善が出来る所はしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スキルアップのため、研修に参加しやすいように研修費・参加費など施設側が負担をしてくれている。また、施設内研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括センター主催の町内の施設合同研修会にも参加してより一層のサービスの向上につなげたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	できるだけ要望にお応えするように配慮をしている。利用者さまとの信頼関係が一番なのでスタッフ一同で気配り、心配りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接、契約時にご家族様のこれまでの苦勞話に耳を傾けながら、当施設の対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面接に伺い、その時の聞き取り調査、本人の状態など面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用があるなど提案させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆人生の経験者、先輩なので常にお互い勉強させて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族とも来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ化の為、面会が難しいが夜間、深夜以外はいつでも電話を取り次いでいる。知人や友人の方も同様に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って、皆様共同生活をされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設にご転居であれば地元のコミュニティでその後のご本人の情報が入ってきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活には叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように本人の意思、意向を尊重しながら日々対応に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したりご家族にお聞きしながらは日々の反応に対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の意向に沿った介護計画が出来るように主治医の指示もおおぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の小さな変化や細かく個別記録に記入することにより職員間で情報の共有をしケアや介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来るだけ入居者様、ご家族様の意向に沿うように心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握することで出向ける事には参加をしようと思うが人が限られているので、ボランティアなどで生活に張りができています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本来は提携医が有るので変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な方はそのままかかりつけ医の往診を支援している。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時は利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、病院との連絡をとるように心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により終末期に向かう段階でご家族様と話をさせて頂き、ある程度の方針決めて看取りまでの過程を説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練、救命訓練指導は実施している。地域との協力のもとには実践が伴っていない。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スタッフも充分配慮していると思う。居室の訪問時には、中に居なくてもノックをして入室し、利用者様にも声掛けをして入室をするようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては対応できる範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて一人ひとりの思いを大事にしている。日々の日課として体操、レクリエーションも声掛けするが強要をしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時に、鏡の前で自分の顔をしっかりとみてもらい整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚、視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えている。食事は一緒にとり、メニューや味付けの話題などで盛り上がります。片付け、食器拭きなど手伝ってもらっています。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量、形態、時間など一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助させて頂いている。ご家族の希望に合わせて月二回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は、時間などに関係なくその都度入浴、またはシャワー浴の支援をおこなっている。また、通院、外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調に合わせて、昼食後に午睡される方とされない方がいる。夕食後には一人ひとりの時間に合わせ入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬が変わった時は、連絡ノートや申し送りなどを行い服薬は飲み込まれるまで見届け確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の残像機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが持続できるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力して頂き一緒に外出される方もおられます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人がお金の管理をされている方には、買い物に同行支援をしている。自分で管理されない方には金額を決めて買い物をして頂くこともあります。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、ほとんどの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしている。冬場は暖房の乾燥予防の為に加湿器や空気洗浄機を設置している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室なのでいつも気兼ねせずに自分の部屋でゆっくり静養できる。またリビングのソファで利用者様同士でお話をされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきていただき落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑、茶わんの他写真、仏壇、寝具など)</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせて頂いている。</p>		

V アウトカム項目(空) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 令和3年12月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	すべての入居者さん方が均等に外出をする機会が持てていない。	個々の心身の様子に合わせた外出支援を行う。	外出が難しい方も可能な範囲でベランダや庭先に出て頂く。	6か月
2	15	季節を感じるメニューの提供が少ない。	旬の食材を使ったメニューづくりをする。	入居者さん方が食事とおして季節を感じて頂けるようなメニューを心掛ける。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。